



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員 区政報告

NO. 386. 2013. 8. 18.

放射2号線住民説明会（7月29日）

「住民は納得していない」 会場騒然！

形だけの説明で強行は許されません

東京都市は、地震により火災が発生した時に木造密集地域は非常に危険。「命の道路」として放射2号線をつくり延焼遮断帯とする。また道路ネットワークをつくることが輸送の確保を行うと説明。しかし会場いっぱい180人の参加者は納得しません。多数の手が上がりましたが、質問は5名で打ち切り、同じ答弁を繰り返して怒号の中終了。質問の要旨は

○「突然舞い込んだ乱暴な話。道路ありきではなくメリット、デメリットなどきちんと説明を」

そもそもなぜ道路が必要か



星薬科大の並木道と薬草園が2.5m道路に

放射2号線とは
(裏面参照)

平塚橋交差点から旧中原街道を進み、星薬科大学イチョウ並木を横断、荏原一中横を通り、わくわく広場を削り、桐ヶ谷通りを横断、第一日野小第2校庭を削り、安楽寺脇から環状6号線へ抜ける全長1.2km幅25m(一部33m)都道。1946年戦災復興道路として都市計画決定。2012年防災目的で「特定整備路線」の候補として選ばれ2020年完成を目指す。

住民の意見を取り上げないまま進めるのか」

質問の度に大きな拍手が起こり、東京都課長の最後の答弁「この位置で決定した。正しい道路計画なので進める」で住民の怒りが爆発しました。

車は燃えるもの 渋滞道路は火の海

木密地域が危険で道路が必要と言うならば品川区中が道路だらけになっ
てしまいます。

都も車は燃える物と言っています。渋滞の道路で車両火災が起これば大変なことになります。学者

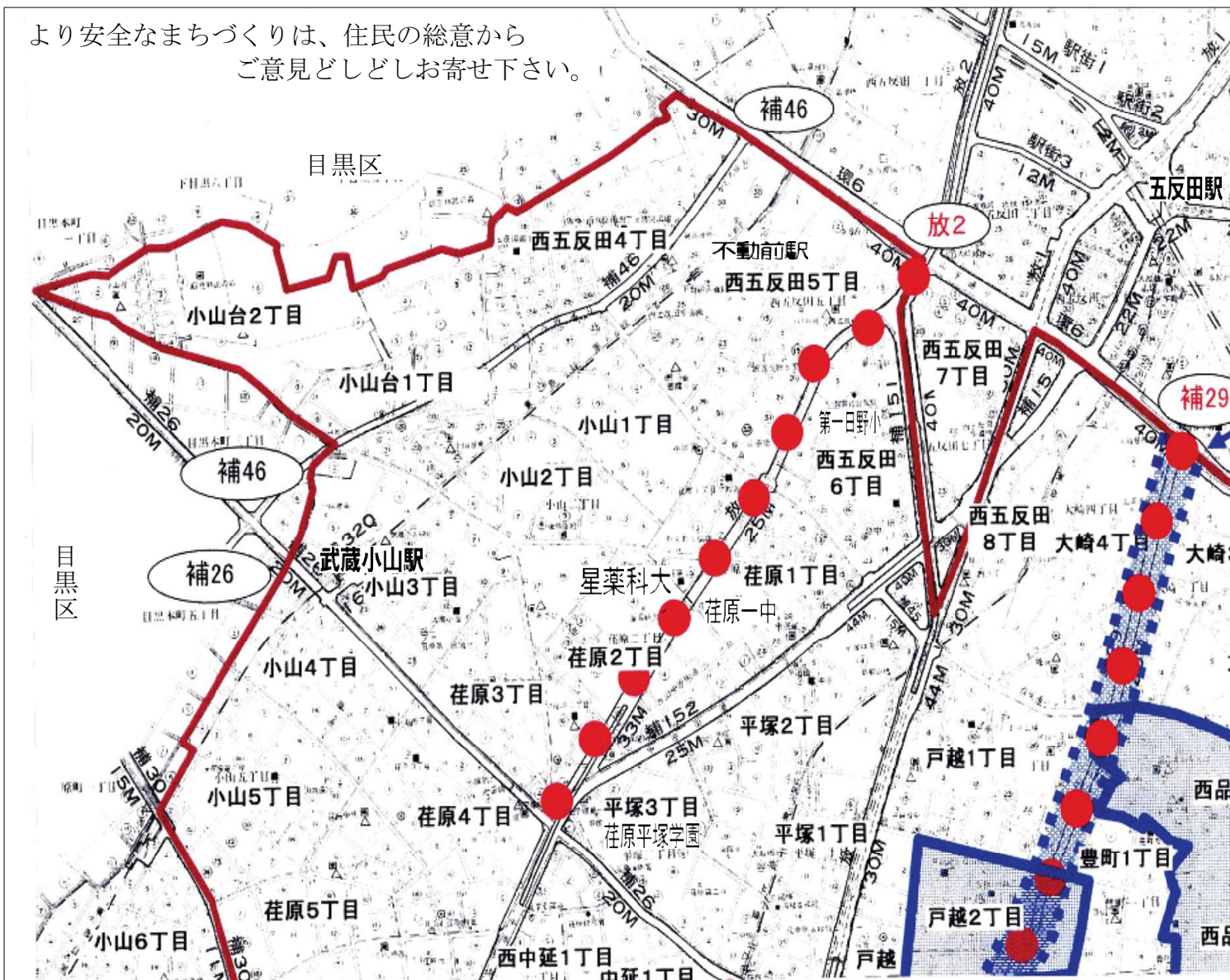
○「昭和21年の計画を今になって進めるとは。シミュレーションをしたというなら議論できる資料を出して」

○「高速道路、中原街道がすでにある。交通量は調べたのか。新たな道路の必要性、納得いかない」

○「荏原地域の説明会では、星薬科大学関係者からいかなるものかと思意見が出たが、応えていない。」

放射2号線道路計画（〇〇〇が路線）補助29号線は沿道30mの開発も申請準備中。

より安全なまちづくりは、住民の総意から
ご意見どしどしお寄せ下さい。



木造住宅の耐震化・不燃化こそ急げ

からは、道路は逆に危険と指摘されています。都は、道路が延焼遮断帯として効果があるというシミュレーションを行ったと言っていますが、いまだその結果を示さなのままです。

「命を守るといふならば、阪神淡路に学び、新たな道路ではなく、木造住宅の耐震化・不燃化の助成を増やし進めること。出火したら火災が小さいうちに消す。初期消火体制の強化こそ必要」と共産党区議団は議会の度ごとに提案しているところ。私達は、災害に

強いまちづくりに欠かせない地域のつながりを壊す計画には反対です。ご意見をお寄せください。メールも届いていますが、地域の意見が何より大事と考えます。1回の説明会で終わらせない抗議の声を届け、再度の説明会を求めていきたいと思います。

無料法律相談は9月18日（水）です。8月はお休みします。弁護士がお話しを伺います。重ならないようにしたいので、予約を入れてください。